週刊 時事経済

発行所
平市紺屋町36
株式会社
時事経済新聞社
主幹　田原登
電話　4775
毎週　土曜日発行
定価3カ月　百円
一部　五円

福島、郡山、平で争奪戦

大日本ビール工場の誘致

敷地は日曹赤井が第一候補

大日本ビールの社長柴田清氏過般飯坂温泉で関係者の招待宴席上「福島県内にビール工場を設置の計画があり条件に敷地（五万坪以上）を提供して欲しい、工費は四十億円」ともらしたことから、俄然福島、郡山、平三市の猛烈な争奪戦となり、平市ではかねてこの敷地を物色、廃山になった赤井の日曹赤井炭礦は敷地も七万坪あり、水利小玉川または夏井川を利用出来るという処から第一候補地として近く諸橋市長ら関係者が大挙上京、柴田大日本ビール社長を訪れ誘致の申し入れを行うことになった。この敷地を市で買収、ビール会社に提供するワケで市の鯨岡局長は八日鉱山事業整備団の清宮一郎氏らと打合わせた。目下のところ平市は福島、郡山よりも有望と見られているが、それは工場敷地は水利に恵まれ平駅附近から現地まで軌道が布かれている。またビールの消費量は石城は年間十万石といわれこれは福島、郡山、会津のどこよりも最高である等からである。

五名が消防協会長賞

日本消防協会長表彰の県下の優良消防団五団と優良消防団一月中旬相馬市で開かれる県下員四十四氏がこのほど決まった。表彰式は十一日、日本消防協会長が代表して受賞、四消防団長大会で伝達される。石城地方の表彰者氏名は次のとおり。

「功績章受章」川前村団長駒木根裕次。

「精績章受章」平市分団長坂野幸市、常磐市副団長佐藤一雄、勿来市副団長山田益一、川前町副団長佐藤喜久男

温泉問題は検討中

公営バスに賛成

盛会だった初の移動県庁

県民の声を県政にと第五回移動県庁は六日午後一時から四時まで平市公会堂本館で開かれた。県側から佐藤知事、黒川総務、倉持厚生八島経済、菅野商工労働、金子農地林務村本土木の各部長、平野林務官、佐藤教育長、金堀県警本部長が出席、会場には各市町村長や県会議員、各種団体代表を始めやく二千名の満員という盛況で、諸橋平市長が司会者となり活発な質問戦が展開された。質問は三分間に制限したが質問者が一度に三十人ぐらいがワット手をあげて司会者を困惑させた。質問は石城の重大問題となっている石炭産業の不況で失業者の対策、総合開発や農地の鉱害補償問題五市合併と公営バス、温泉問題、工場誘致、漁業振興対策などの質問攻めにあいこれに対し県側は財政難のため要望の主旨にそえないがなかなかそうも行かない苦しい答弁に終始したが、県側としては地方民の声を直接きくことが出来たので大きな参考の資料とはなったようである。

主なる質疑応答左の通り。

質問　石炭産業の不況で離職者は五千と推定されるが対策如何、労働会館の建設に前大竹知事は一億の予算で建設すると大風呂敷を拡げたが建設の意志ありや

答　石炭不況は火力発電の拡充で年間百二、三十万トンの石炭を消費する様になり、離職者対策は政府の対策と相まって県の三十五年度予算にお計上してあり、また職業補導や、東京、大阪方面への産業へ求職開拓をする労働会館問題は考慮している。

質問　温泉問題が大きくクローズアップされて石城を温泉郷化の理想案もあるが常磐市民感情は石炭に依存出来ない時代に入って来たので温泉問題は慎重を要すると思うので、県は静観して欲しい、また五市合併について。

答　五市合併に反対の意見をきいたことがない、市民の盛り上る力で合併を促進したらどうか。温泉問題では温泉利用の陳情もあり、また反対の陳情もあったが慎重に検討したい。

質問　五市公営バスは市民の足の一層の便利を図るため必要で県議会も満場一致でこれが促進の決議をしたが知事の御意見は。

答　交通は直接生活につながる問題で公営バスの理想的な運営をされることを希望する。然し知事は許可権がない。

質問　農業災害補償法は農民の負担が重いので農民から好かれない。農業共済組合の育成方策、集団スズメの被害対策如何

答　農業災害は全額国庫負担にしたい。それには全国の農民が立ち上らなければならない。共済組の育成も県の財政が許さず考慮している。スズメの駆除は県も駆除策を考えているが、団体として駆除の方策をたてほしい。

このほか勿来海岸の埋立て鮫川治水、河口問題や、鉱害対策、総合開発、農業企業法、同土木事業、母子職業補導問題や住宅問題、小名浜ー新潟線二級国道問題磐城市に高校設置問題、漁業振興策など種々な当面せる問題が飛び出したが大した名案がなく苦しい県政財はどうにも満足の行く答弁はなく慎重に検討中といった有様だった。

無登録業者に注意書を発送

医薬品販売で

石城医薬品販売協会（会長鈴木武夫氏）では医薬品を売る三号業者のなかに無登録で販売しているものがやく二百名もあることが判ったので平保健所から登録するよう注意書を近く発送することになったそれでも登録しないものに対しては取締り規則による制裁されるハズである。

百万円当つた幸運者わかる

平市三丁目三幸前で売り出した全国自治宝くじを買って二等百万円に当った人が判明した。この幸運者は平市赤井字畑子沢の大工職金成治さん（四一）で一枚だけ買ったのが当ったもので大喜びである。

五百名が増

平市の中学生

平市教育委員がまとめたことしの中学進学生は昨年より約五百六十人ふえた千九百九十八人であることがわかった。このうち男は千三十九名、女は九百五十九名で、これにともなって学級数は十学級ふえることになる各小の卒業生は次のとおり。

一小（三五）二小（三三）三小（二七六）四小（九七）五小（一〇七）六小（一〇〇）豊間小（一七〇）高久小（八七）夏井小（七九）草野小（一五八）赤井小（二〇五）

東北六県東西対抗柔道大会開く

場所は平市、三月に本決り

磐城柔道会（会長沼田一夫氏）では二月六日内郷市公会堂会議室で理事会を開き、第十二回東北六県東西対抗柔道大会開催を議題に協議した。同大会は東北六県の現役高段者を初め優秀な段位をもつものの対抗試合で、これまで既に各県庁所在地で開催され、本年は福島県が開催地となっている。柔道会では是非平市で開催したいと理事会で案を練り、来る三月の総会に付議して正式決定をみた上で実施計画を樹てる運びとなるようだ開催は七月頃の予定であり、講道館よりも三船久蔵十段を始め高段位者も見える予定なので当日の盛会が予想される

楽しさも喜びもある宝くじ
第131回　関東・中部・東北自治
前後賞併せて　300万円
1等　200万円・前後賞50万円
抽せん　2月20日　受託　日本勧業銀行

物見が岡

移動県庁はよい思いつきである。県の幹部諸公の声がいに県民が直接に接することが出来ただけでも親しみが生れるから無駄ではない。佐藤知事は本県は全国で三十番目の貧乏県でこの汚名を返上するよう県民の諸君と共に頑張ろうといった▼貧乏県とは知りながらそれが慢性になっている。だからこんな貧乏県で満足出来ますかと県民に呼びかけ刺戟を与えることは今一段と努力させるために大いに役立つ▼更にこうした会合は一面県の幹部を評価する一つの資料にもなるし、県はわが石城という地方に対してどれだけの認識をもっているかという点もおおよそ見当がつく▼驚ろいたことは質問者が以外に多いことだった。これには司会者の諸橋市長も指名には困惑の態だったがそれだけに石城にはあまりにも問題が多いということを物語るものであろう▼こんな短時間で山なす問題の納得のゆく話合いの出来るはずは最初からないのだが、質問の要旨は簡にして要を得ないのもあり、それにこの公会堂は音が反響してかききとりにくく恐らく聴衆はどういう質疑応答の内容か判らなかった人が多かった様である▼福島郡山、若松は何れも新しい公会堂が出来ているのに平だけが古くてききにくい公会堂を使っていることは、それだけ文化も遅れることになる。早く何とかしなければならないだろう。

信州善光寺
永代宿坊　寿量院
寿量院
長野市元善町
電話(2)四五〇六番

信州戸倉
上山田温泉郷
千曲館
電話（戸倉）四四番
（上山田）一四四番

甲州
湯村温泉郷
朝日館
甲府市湯村温泉
電話(甲府)三一八二番
七八八五番

東京都台東区
いなほ旅館
地下鉄いなり町駅前
電東京831局〇〇三九八八
七三五五八八

日立の下請負 有利なこと実証
磐城興業の経験は語る

平市鉄工業協組（関口義久理事長、業者十七名）では石炭産業の不振が影響して不況対策に種々頭を悩ましているが県並に市当局は日立製作所の下請負に転換させ様と県及び日立製作所から技術者を派遣し企業診断を行ない、その結果が近く判明するが、企業者のなかにはこの下請負が果して有利かどうか迷う者もあって必ずしも足並が揃ってはいないが、昨年八月から日立の下請負に転換した平市小太郎町磐城興業（茂木茂常務取締役）では戦時中飛行機を製作していた富士興業の精密機械をもっていた関係等もあって最近では下請負事業で充分の採算がとれることを明かにし更に一千万円の予算で事業を拡充することゝなり業界の注目を惹いている。右に関し茂木常務は語る。

炭礦が斜陽産業となり炭礦に依存出来なくなったので昨年八月から日立の下請負を始めたのですが、最近では能率もぐんぐんあがり充分採算がとれる様になった工作品は英国や印度方面に輸出する発電機の部分品が大部分で検査は厳重であり少しのごまかしも出来ないが、真剣に技術をみがいてやれば能率もあがり、われわれの製作品が外貨獲得の一役を荷負っているというプライドも出るし、従業員も日立の仕事をしていることは何処へ行っても立派な工員として待遇されるのでいろいろな点を考えて日立の下請負はボロイもうけにはならないが、堅実な仕事であるから業界の振興に迷わず下請負をやった方がよいと思っている。わが社は能率を倍加するため近く一千万円の予算で機械四台を新設する計画をたてている

講演会開く
平二小

平二小PTA及平市第二婦人会では、二月十三日午後二時から東京学芸大助教授鈴木治先生を招き「欧州滞在一カ月の感想」の演題でスライドを併映して講演会を開いた。同先生は内郷市出身、旧磐中を出て後、東京文理科大学心理学科卒業の心理学者で、一昨年より昨年にかけてスイス（ジュネーブ）に一カ年間文部省海外派遣留学生として滞欧された新進の学者である。尚同校では同日本年度の文化講座終講式を行った。

老令年金証交付

平市では県に提出していた国民年金裁定請求書千五百四十件のうち老令福祉年金の証書がこのほど県からとどいたので七十才以上の老人六百八十名に交付した。

豊間地区は百二十九名で八日その他の地区五百五十三名は十日から三日間、市の保険課で交付した。

競輪廃止論高まるや
売上げが増加
皮肉な現象におどろく

競輪廃止の声が高まるや全国的に売上が増加しているが、平競輪もその例にもれず、本年一月の売上げは六千四百万円で前年同期よりも二百万円も多く、二月は去る六日で終ったが、五千五百九十三万七千円で前年同期よりやく三百万円も売上げが増した。競輪に対する風当りが強くなったため自粛の意味で花火の打上げや、バスでお客を運ぶなどのサービスを廃止したのだがそれでも却って売上げが増加するということはまことに皮肉であり市当局も驚いている平市唯一の財源で年五千万円のもうけがあるのでこの金でようやく市の台所を賄っているので他に財源が見つからない限り存続する方針をとっている。

永勤者を表彰
平市飲食業会総会

平飲食業会（会長金子松男氏）では八日公会堂日本間で三十五年度新年懇親会を開き、席上で優良店舗七店、永年勤続従業員を表彰した。

▽優良店舗＝鈴木屋（鈴木タケヨ）うえ野（植野ミネ）浮世（猪狩ミサ子）都々逸（内藤ヤマ）亀ずし（新妻喜代）久松（内海アキ）マルカ（佐藤菫）

▽永年勤続▼十年＝石井チヨ子（住吉屋本店）佐藤ケイ子（フラワー）小池久治（蛇ノ目）佐藤梅子（〃）鈴木勝三（江戸川本店）▼七年＝斉藤千年（マルトモ食堂）早川陽子（銀馬車）佐藤欽哉（玉半）黒沢春子（フラワー）安藤信子（〃）佐々木藤子（パール）▼三年＝斉藤文子、佐々木加代、根本よし江、鈴木年丸石坂輝雄、鈴木晴夫、渡辺研一菊地幸二、佐藤トシ江岸都治、高橋三男、鈴木良子、古家繁子、河野多美子七海政子、室井政子、梅江和江、小松幸子、野口千代子、三浦順子、本間芳子、大塩千之輔、渡辺タツ、斎藤マキ子、山沢京子、橋本喜彦、鈴木正芳、幸田テル、佐藤絹江、石塚重雄、馬上千代子、木村明子、佐川君子、斉藤繁、佐藤寿一小川セキ、阿部愛子、佐藤健治、鈴木フクエ、向原実片寄宜長、斉藤君子、柳田すみ子。

湯本の金刀比羅祭に人出四万

常磐市関船の金比羅神社の大祭は旧正月十日にあたる六日行われた。「金比羅まつりは天気が悪くなる」といわれているジンクスを破って、この日はよい天気にめぐまれ、参拝はざっと四万人。湯本駅前から同神社までの約五百メートル道路は大漁、航海安全五穀豊作を祈る農漁民などでごった返した。

論壇
日立港近く完成
急げ常磐総合開発

武川信夫

常磐地区総合開発小名浜港整備拡張五市合併、公営バスと常磐地区に課された問題は何れをとっても重要問題であり、関係者において熱心に討議研究陳情予算獲得運動が繰り返えされている。

着々効果はあがりつつあるものゝ前途はなかなかである。常磐地区に最も関係の深いお隣りの茨城県の様子は案外灯台下暗しで日立製作所以外余り知られていないのであるまいか。

特に港湾関係で本県は海の玄関口として小名浜港の様子は殆んどが知っているが日立港が完成の日近く、完成の暁には東京、塩釜間に小名浜と共に二大貿易港の出現をみることになり、名実共に第二の京浜工業地帯に比敵することともなるので当地方の発展は一段と活発となるだろう。

今日立港の模様を探ってみると、茨城県が時代の脚光を浴びて近代化の流れの中に変り出したのは数年前だった。農漁業から工業県への脱皮は、どの県もが等しく抱えている願いであるが茨城県の場合、東海村に原子力研究所がある丈けに他県と条件がちがう。

北部海岸地帯が常磐炭田や非鉄山地帯をもっていながら日立、多賀以外の工業地帯が発展しなかったのは何に起因するのか。それは良湾がなく、大型船舶の出入ができなかったからに外ならない。輸送網は海岸に沿う一本の鉄道と国道が利用されているにすぎなかった港湾整備が工業地帯発展の必須条件だったことは云うまでもない。だが今は違う同県最大のホープ「日立港」に待望の三千トン級船舶埠頭が完成するからだ。この埠頭完成によって日立港としてまた常磐鉱工業地帯の玄関口として今後の発展が約束されるだけでなく、東海村の原子力センターを背後に、国内で類のない原子力港として大きな役割を果すことになった。

去年十月室蘭より第一船が入港したのを皮切りに、旧年中に十一隻が荷役を行った。二十二万四千ボルト・アンペア発電機重量二六一トン、十七万五千キロワット、タービンなど日立工場からこの岸壁を通ってニューヨーク、仙台火力発電所へと海上輸送された。

入江もなく湾もないそと海に、三年足らずで日立港が完成するのだから臨港建設史上珍らしい記録である。

新年度から更に一万トン級埠頭の建設に着手するが、遠からず日立製作、日鉱の積出しは横浜より日立港に切り換えられるだろうと県民の希望は明るい。

同港のこれまでに投入された工費は約七億円、延べ労力十万人、三千トン埠頭のAB、岸壁の長さは百二十一米、沖合のテトラ防波堤は二百五十米、三月末までに百米の延長工事が終る予定である。この外に岸壁用に三百トン起重機一億二千万円、鉄筋入りのデラックス道路日立港～日立助川間十三、四キロの舗装道路に四億七千万円を投入して輸送網を整備したが、更に新年度には防波堤の延長、鉱石、石炭置場、二級国道水戸～日立久慈～鳥山間の整備強化を行うことになっている。

では日立港の将来性はどの位利用度が高まるのだろう。同県の推定では三十五年度の貨物利用見込は輸移出九十一万トンで石炭、セメント、硫化礦が主体、輸移入は機械、農作物、鉄材石油などで三十八万八千トン、合計百三十万トンが荷役される想定になっている。

こうして日立港を玄関口とする茨城県北部は、重化学工業地帯への発展を十分期待できる条件を備えることになった。

そこをねらって工場誘致運動も盛んで、国鉄、日立電鉄の共同による臨海鉄道誘致計画が実施されており、石油会社、埠頭会社の進出重機、化学パルプ工場の誘致が計画されている。

隣県のこうした力強い歩みに対して福島県の最も生産力の旺盛な常磐地方の今後の対策はどうあるべきか今迄に工場誘置等の話は幾たびか耳にしたが何れも立消えとなったり、かけ声ばかりに終った事例が多いのはどうしたわけだろうか。

高柴ダムの完成によって工業用水が確保されるとすれば、電力、石炭に恵まれている当地方にも幾多の工場が誘致できるのではないかしかし工業用水、動力が解決されても地価が無やみに高い所には工場はこないであろうから工場誘致に当ってはこの点を十二分に勘考し、地主は一時の利得に走ることなく遠き将来を考えて、地方の繁栄に目を注いでやってもらいたいものである。

おいしいお茶
大勝園茶舗
平市三丁目　電二三九六

精神科
神経科
内科
新田目病院
院長　新田目五郎
本院　平市才槌小路電四三二七・四三二八
分院　平市上荒川安草　電　四三二九

精神衛生無料相談
財団法人　石城精神医学研究所
平市才槌小路電四三二七・四三二八

甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り　電四〇二五

高級メリヤス洋品
洋品のツルヤ
平市四丁目電 4540

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓 六段最中
六段本舗　平凡　平駅前
電 2509

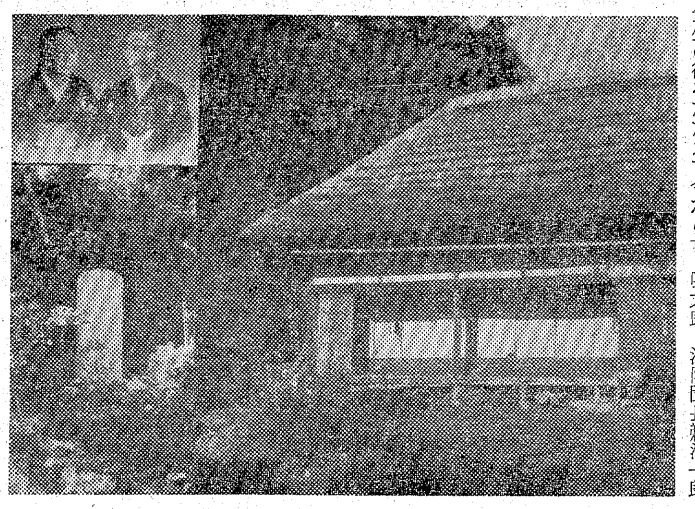
クツの王様
レツクス・フレツクス
従来のクツよりぐつと軽く弾力性がありとても快適です
素晴しい人気
靴のスガタ
本店平市銀座街電4604
支店平市二丁目電4059

ガムの王様
キングトリス
浜通り代理店
菓子問屋
株式会社 石河屋
代表取締役 河又新一
電 3753・5069

全財産を寄附した伊藤先生の頌徳碑

上大越部落で落成式

平市夏井字上大越部落民に明治初年以来四十年間も教育に育英事業につくし、晩年全財産を部落に寄附した伊藤敬止先生の徳をたたえて今から十年前部落民が頌徳碑を同地に建立していたがこれが落成式を去る一月三十日に挙行したこの世話役には部落の区長矢吹大郎、消防団長鵜沼一郎、婦人会長矢吹きさよ、青年団長鈴木昌康、農事実行組合長鵜沼清氏を始め部落の主だった人々が当り永久にその徳を忘れないようにと建碑の落成式を挙げたものである。伊藤敬止先生は嘉永六年江戸浜町に生れ、父は坂下門外の変に功労のあった人で東右衛門と称し平藩主安藤信正公に仕えた人で、明治維新の社会機構の改革期に当り伊藤敬止先生は明治三年養母令弟ら三人を連れて上大越に帰農し、大原、沼の内、下大越の小学校の先生を経て夏井小学校に転じ四十年間教鞭をとり育英事業にもつくした人で大正十三年九月八日七十二才で亡くなったが、生前に全財産（住宅と宅地一六八坪、畑一反歩山林二反三畝）を部落に寄附したものである。部落民は感激して同住宅を公民館としてして使用して来たが先年これを売却予算八十五万円で新築し農村文化の向上に役立てている文碑は市議坂本登氏の作であるが左の通り（写真は寄附した当時の住宅と伊藤先生御夫妻）



碑文

上大越公会堂は故伊藤敬止先生の御遺志に因り子孫相謀りその住宅を寄贈せらる。先生は嘉永六年江戸浜町に生る、人と為り性謹厳博学有徳の士、世々平藩主安藤公に仕ふ、父東右衛門、坂下門外の変に功あり先生明治三年養母及令弟三人を伴ひ当上大越村に帰農し、専心農耕に従ふ、時正に幕末維新文化の創造に当り郷党に良師を欠く、村民挙りて先生に教を乞ふ、先生世運を洞察意を決し育英に任じ、大原、沼ノ内、下大越の普通小学校を経て夏井尋常小学校に栄進、前後教鞭を執る事四十年斯界に貢献せらる、退職後も亦社会教化に終生を捧げ大正十三年九月八日逝去す、享年七十二才、特に本村民は父子二代先生の薫陶を受く、今や幾多の俊英出て各方面に名を成し教育の実愈々挙り先生の名声全郷に高し令弟松本郁松氏は浪江町に、伊藤銚松氏は久之浜町に、伊藤峰松氏は須賀川市に各々業成り名遂く。令閨トメ氏は賢母の名高く亨ら裁縫を教へ地方婦女子の教育に励む三子を挙ぐ長子敬親医学に志し学成りしも夭折、孫敬文、敬之奮起共に扶け蛍雪の業成り、父の遺志を継ぐ次子半吾、才徳も兼ね実業界に活躍百折千挫に屈せず天稟の才腕を発揮し西山家を興隆せり又社会福祉のため鋭意尽力す、三氏東、歯科医に進み東京に開業伊藤一門の為、殊に力を効せしも不幸世を去り遺族その業を継承す、今や一門の諸士各界に頭角を現すの時、郷里の生家空しく家人なし、郷人その古雅にして風致に富める邸宅庭園を見ては先生の風貌に接するが如く自ら畏敬の念おこる、偶々、子孫相謀り祖先の意を体しその住宅を上大越公会堂に寄附し、更に宅地百六十八坪畑一反歩山林二反三畝歩を之に加ふ、区民先生の遺徳と一門の美挙に感激し之を欣諾す、依って当大字は永く先生の遺徳を熹ひ即ち修養道場を兼ねたる公会堂として運営の万全を期し厚意に酬えんとする、茲に碑を建て以て永遠に記念しその梗概を叙す。

石城財界人評判記

業界話題の人物

味方は大衆〃藤越〃の江島一雄氏

平市〃藤越〃の社長江島一雄氏（五〇）は最近めきめきとのしあげ石城財界人として押しも押されもしない地位を築きあげた業界話題の人物である。小さいながらも地下一階、地上五階の不燃質ビルを建設して業界をアッと云わせた手腕家である。裸一貫からのしあげたのだから驚くのも当然で、戦後彼は鮮魚を炭鉱方面に売り歩いていたが株式会社〃藤越〃を組織したときそのメンバーの一人となったので経営を江島氏一人でやることになり、入りこんでいたいろいろの店は引込んでしまった。

そこで経営方針を一変し食料品販売に重点を置き従来平市内では一寸手に入らなかった珍しい物を売り初めたのと薄利多売をモットーにしてやつたのが当って客足がつき、いつも食品部は真黒な人だかり、押すな押すなの盛況である。資金は少ないので買入れするという。一入の客が百円使つたとすると売上げは百万円から百五十万円となる勘定だから常磐交通と競争ができようとまでの噂が出る始末である。だから五階建ビルも手持金で全部支払つたと噂する人もあるが、二千万円だけ銀行から借りたという。

〃藤越〃の繁昌は引いては他の店にも影響し場末の食料品店など悲鳴をあげているのも少なくない。一昨年はスーパーマーケットという医薬品の定価を割つた乱売をやったときは薬品店の死活問題だと反対のノロシがあがるなど江島の存在は業界攪乱の人物だと注視された。そのためかどうかは知らないが医薬品乱売はしないことにして県の登録を得て最近はこれを定価売りしている。

廿貫余の巨体、温和な容貌で口数が少なく万事控い目の様に見えるが、なかなか太っ腹で細心ち密なんだそうだ。どこにこうした斗争心がかくされているのか判らない。父君は警察官だったので転任転任で少年時代は方々歩き廻ったので相馬中学出身である。小学時代の或る同級生の話によると、特長はなくおとなしい普通の子供だったというが現在では内に燃えるような斗志を秘めて商売の研究心も旺盛であり、商売仇敵の嫉視に囲まれながら悠容として迫らず大衆を味方として地道に精進している。線香花火に陥入るようなことは万あるまいと一般の見方である。

（写真は江島氏）

× ×

地上四階のビル

大黒屋、近く工事に着手

皆様の利益を護る店として平市三丁目で盛業中であった大黒屋は衣料百貨店を新築することになった。

建築は直営で地下一階地上四階になる模様で平母店の在庫品処分次第建築にかゝり花の四月には花々しく新装開店になる予定である。

平母店では二月十日からは店じまいだんだん割引と称し、二月十日一割引十一、二日二割引十三、四、五、六日は三割引十七、八、九、二十日は四割引、廿一、二、三日は半額の大サービスで処分を開始した。

報徳社の常会

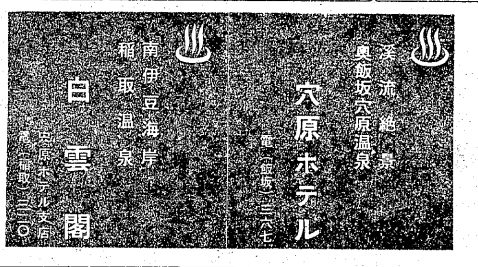
管野平署長講演

平市紺屋町の力行会報徳社では二月の月例常会を二月二十一日（日曜日）午前九時半から同社湯本支店（常磐市軍鳥鉱入口）で開催する。

当日は管野平警察署長の「今日の警察」と題する講演があり、報徳社社員多数の来聴を望んでいる。

普及しない退職金制度

昨年十一月一日から実施された中小企業退職金共済法は現在まで加入申し込みが今だに五件しかない。平労政事務所はこのため同法の趣旨を広く理解してもらうよう強く働きかけることになった。申請した事業所は▼平市一丁目平活版所（四五人）▽平市研町八田口商店（三人）▼平市才槌小路瀬尾処局（一三人）▼勿来市窪田町ときわタクシー（一三人）▼四倉佐藤武（三人）



2月17日～23日
日活スコープ
天と地を駈ける男（天）
石原裕次郎主演
おヤエのもぐり医者
若水ヤエ子主演
2月24日～3月1日
新東宝スコープ
地下帝国の死刑室
暗黒街に巣喰う国際秘密機関の凄惨な争い
人形佐七捕物帳
裸姫と謎の熊男
平新東宝

娯楽映画は 東映 三夜東映
東映スコープ
毎週東映3本立
大人 70円 学生 50円 小人 30円
2月17日～23日まで
怒とうの対決（天）
はやて紋三郎
月光仮面
幽霊党の逆竜
2月24日～3月1日
快傑黒頭巾（爆発篇）
そよ風日傘（天）
素つ飛び笠
平日10時・日曜祭日9時より
新装開館 三夜東映
平警察署前・電（平）3936

2月16日～22日
シネマスコープ総天然色
グランドキャニヨンの対決
コーネル・ワイルド
ビクトリア・ショウ主演
（コロムビア映画）
アライドアーチスツ映画
ビスタビジョン（サイズ）
全員射殺
みなごろし
バリイ・サリバン
エレーン・エドワーズ
23日より
わらの男
CS天
ビツクサーカス
完暖全房 ひかり座

ノルウエー製レヂスター
正確 堅牢 廉価
アドウエル
電動式 ￥150,000
加算 ＋
減算 －
乗算 ×
中間合計S
総合計自動印刷T
萩金庫商会
平市三十米大通り TEL 3352・2631

二宮尊徳の偉業（7）

その生涯と思想

餓死して領民に謝せ

近頃ジャーナリズムの発達によって大衆の意志とか考えとかが発表される機会が多くなり各々の個性は迫害されず日本人が自分の考え方とか生き方を持つことは容易であるところが実体はどうであろうか。現在の日本ほど個人がはっきりした自身の個性をもたず周囲の雰囲気に惑わされて自分の信念をもっていない時代はない。

幕末の武士階級の圧政の下で生きた百姓の子尊徳は幼少からの生活の苦しみの中から握みとった信念をもち、一生まっしぐらにその信念の為に進んだのである。

その時代全国的に飢饉がいつつき、当時既に小田原藩主大久保候分家宇津家の領土桜町（栃木県）三村の荒廃を十年の期間で見事に復興させてその手腕を天下にとどろかせていた尊徳のもとに、近藩はおろか日本全国の各藩がこぞって彼の仕法を頼みにいったその時尊徳はまず厳しくその藩主と藩政の責任者達のそれまでのだらしなさを強く責めてやまなかった。その確固たる彼の言葉をきいてみよう。

「時に大夫某先生に問うて曰く、年餓えて民を救うの道を得ず。此の時に当り何の術を以て飢渇の民を救い之を安せんや」その藩の家老達がもう倉には米もない。どうしたら民衆を救うことが出来るのか方法がないではないか。と云うのに対して尊徳の答はこうである、

「先生曰く、礼記に云う、国無九年之蓄曰不足、六年之蓄曰急、無三年之蓄曰国非其国、（その国に九年分の貯えがなかったら不足であり、六年分無かったらもう火急の問題で、三年分も貯えの余裕がないのなら既に国であって国でないようなものだという意）歳入の四分の一を余し之を貯え、水旱、荒年、盗賊、衰乱の非常に充つるもの人の制にあらずや。事あらかじめする時は救荒の道何ぞ憂うる事之あらん。然るに僅か一年の餞餘至り、救荒の道なしとは何ぞや。是の如くにして国君の任何れにかある。大夫執政の任、何を以てその任とするや」いやしくも一国を預かる司政者が一年位の餞餘で手を上げるようでは居ないほうがましだとつめよっている尊徳は百姓出身であり相手は大身の家老である。続けると「国君大夫の職たるや、夫民を預り、之をして悪に陥らず、喜を行い、人倫の道を踏み、生養を安んぜしむるもの、その職分にあらずや。この勤労を以て恩禄を賜はり、父母妻子を養うことを得。然るにその民を預り安んぜんとするもの思慮此にあらずして自ら安居の道を計り、奢侈に長じ、上下困窮に陥り、万民をして飢渇死亡におとしいるに至りて尚漠然として我が罪なることを知らず、歎ず可きの至りに非ずや」彼は民の餓死寸前のありさまはすべて司政者の罪なりと断じて批判を加えてその上「この時に当り救助の道を得ば可也、若し得ずんば人君この罪を天に謝し、万民に先立ち飲食を断じて死すべし」と云いきっている。しかし言葉は続く。

「然りといえども一国君主を失わばその愚至大にして、誰か又国を治めん、然らば大夫（家老）たるもの、君の死を止め……君素より臣等に安民の政を任ず。臣その任を受けて而してその民を飢渇に陥らしむ……某百姓に先んじ食を断ち死を以て領民に謝する也と令し、第一に大夫餓死に及ぶべし。その次は郡奉行なるもの、その職とする所、領民の危きを去り安からしむるにあり、然るにその行う所道にたがい、民を飢えせしむ。是我が罪なり。死を以て百姓にその罰を謝せんと云い、断食して死すべし。……是の如くなれば始めて、その任に在りてその任を忘れたるの罪を知れりとすべし」（報徳記より）この気魄が現代にはない。痛いほどの真実があふれ、百姓大衆に対する愛情をもちつづけた尊徳の前で現代の我々はもう一回自分達の姿をみつめてみたい、自分で話していることが果たして自分の心から思っていることなのか自信を持てる人はどれだけいるだろうか、尊徳の上に厳しく下に厚い生き方を通した信念は彼自身の生活の中から生まれてきたものである、

平城懐古の詩を新作歌謡曲に入れる

平観光協会で普及に決る

松林桂月翁が諸橋元三郎氏の依頼で作ってくれた「平城懐古の詩」は各方面から絶賛を浴び好評なのでこのまゝにして置くことは勿体なく青少年の思想善導と石城観光の歌にしたいと十一日午後四時から旧城跡平安クラブに市から諸橋市長、大泉議長、長谷川教育長、鯨岡多久氏、大竹商工観光課長、一般から坂本昌蔵猪狩四郎、馬目勝次郎、山崎忠兵衛、小松錦治氏ら二十五名が出席、これまで世話役をして来たイワキグラフ社から経過報告、諸橋市長の祝辞、鯨岡氏が議長となり協議した結果、歌謡曲を新作してその中に詩を入れて普及することになり、平観光協会が一切を引受けて会津白虎隊の歌謡曲をしのぐ作品にしたいということになった。次いで詩吟のベテラン伊藤退之助、三井晃男、佐藤俊男、山崎忠兵衛のほか馬目勝次郎、酒井清之助松崎喜一氏らがろうろうとこの詩吟をうたって盛会裡に閉会した。平城懐古の詩は左の通り。

江山勝を尋ねて磐州に入る
風色依稀として旧遊を憶う
廃墨残濠斜照の底、松杉影
冷やかなり古城の秋、山河
襟帯旧藩城、兵馬曾って伝
う海内の名、昨むの恩讐人
識らず、民謡到る処に昇平
を楽しむ。

法律相談

店舗を拡張すると家屋立退きを要求

その理由なら立退きを認めない

問　現在住んでいる家は二十六年前に土地を借りてたてたものです。最近地主が商店を拡張するという理由だけで立退を要求してきました。借地の契約には期限は定めてありません。㈠この場合地主の要求を拒否することができますか、㈡もし出来ないとすれば、他の適当な土地に家を移転する費用などを地主に請求できますか、㈢また借地料を何年満納すると借地権が無効になりますか（平市A生）

答　㈠借地契約で期限を定めていないときは、借地権は普通の木造家屋の場合は三十年つづきます（借地法第二条第一項）同法第十七条によって二十六年前に借地したときから起算して、二十年たった時に一応期限が切れる勘定になります。しかし、その後も借地の使用を続けていたのですから、借地法第六条によって更新されたわけで、さらに二十年のびたことになります。従って、また残りが十年以上あります。また期限が切れたときでも、理由が店舗の拡張ぐらいでは、借地法第四条第一項にいわゆる更新を拒否する正当な事由に当るかは疑問であって、あなたは更新を請求する権利がありますから、立退き要求は裁判所が認めないと思われます。㈡立退かなければならなくなったときは、移転費用まで地主に請求することはできず、時価建物を賃取らせることができるだけです（借地法第四条第二項）。立退く理由がないのに立退くときは、移転費などを出させるのは妥協条件の一つです。㈢また借地料を何年滞納すると借地権が無効になるという規定はありません。ただし、借地料を滞納した場合地主からの請求にかゝわらず支払わないと、借地契約を解除されるおそれがあり、そうなると土地を明渡さなければならず、しかもこの場合には建物を賃取らせることもできないというのが判例の見方ですから、注意を要します。

（回答者山野辺政豪弁護士）

電化製品の御用は
ナショナルショップ
三幸電気部
平市三丁目大通
電4933

三号業者の医薬品を販売している方は至急登録をして下さい
★無登録で販売していると処罰されます
石城医薬品販売業協会
事務所　平保健所内

東洋一の処理場より皆様のご家庭に健康をお届けする
森永　HOMO　ホモ牛乳
森永牛乳平販売KK
平市五丁目　電二九八七

大衆のデラックス
大キャバレー
フラワー
平市田町電二〇〇四・五四四一

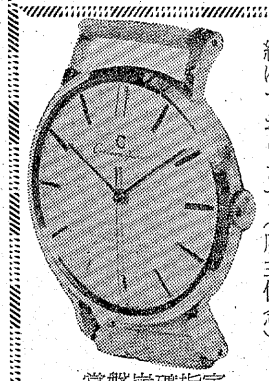
ネクタイ　ワイツヤツ
化粧品　バンド
平駅前大通　電5721
ランドセル　鞄　靴
平市二丁目　電5722
帽子　学生帽
平市三丁目大通電5723
百合

伝導装置要品
ボールベアリング・プーリ・ベルト
加藤商事
平市仲町七（公会堂前）
電話　二五八七

時代と共に…
既製服なら
盛高屋
平市3丁目・TEL.3608

日光古峯ケ原
初参りと鬼怒川観光
一、期日　二月二十五・六日（平駅前）午前六時発午後六時帰着
一、会員　五〇名
一、会費　参千円也
一、宿泊　鬼怒川あさや支店
一、行程（バス）
▽平ー湯本上遠野ー石川ー白河ー黒磯ー宇都宮鹿沼ー古峰ケ原ー今市ー鬼怒川
▽鬼怒川ー日光ー今市ー矢板ー田河ー石川ー上遠野ー湯本ー平
一、参拝・観光
古峯ケ原神社
日光東照宮
鬼怒川温泉
◎備考　出発当日の朝昼食は各自御持参下さい。
御希望の御方は金壱千円也添えて御申込み下さい。
昭和三十五年二月
登録第三〇号
力行会観光部
平市紺屋町十一
電（平）五五二ー二三

国産品の誇り
国際水準を行くキャプテンテックス
皆様のご満足のゆく洋服の御注文は
大平洋服店
平市堂の前　電三九七二
最新式ししゆう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部


皆様に確実なる時計を御使用して戴くために絶えざる努力を続けております（店主信念）
常磐炭礦指定時計の専門店
西山時計店
力行会員の方に限り10回分割払　常磐市電3284